



あさのちゃんねる

vol.36

2021年 新春号
(年4回発行)



特集

がんの完治を目指す！ チーム医療で取り組む外科治療

外科副部長
尾島 医師インタビュー



連携登録医のご紹介

芝クリニック太陽丘

院長 芝 延行 先生



寒い時期ですが換気を
怠らざにしましょう！

病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。

【救急医療】断らない救急医療を旨めます。

【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。

【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めます。

【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

がんの完治を目指す！ チーム医療で取り組む 外科治療

消化器系のがんやヘルニアなど幅広い疾患に対応する当院の外科チーム。特にがん治療ではオーダーメイドの医療を提供しています。外科医であり、外来化学療法センター長も務める尾島医師が、効果的で身体への負担が少ない外科治療について解説します。

がんや良性疾患など 幅広く対応する外科チーム

当院の外科では各消化器のがんを中心に幅広い疾患に対応しています。良性疾患では鼠径ヘルニアなど腹部のヘルニア、胆石、痔核や脱肛、直腸脱といった肛門部疾患、急性疾患では急性虫垂炎（一般的に盲腸と呼ばれています）や急性胆嚢炎、腸閉塞症、消化管穿孔、腹部の外傷も診療しています。また、口から栄養を摂ることが困難な方に胃瘻造設や中心静脈カテーテルのポート造設（皮下に埋め込む点滴システム）を行い、人工透析が必要な患者さんで血管内シャントの使用が困難な方に長期留置型の透析用カテーテルの留置を行うこともあります。ご来院いただく地域の患者さんはもちろん、開業医の先生や関連施設からご紹介いただく患者さんに対しても幅広いニーズにお応えしたいという思いで診療にあたっています。外科では緊急の手術が必要になるケースも少なくありません。急激に激しい腹痛が起こり、緊急手術など迅速な処置が必要になる腹部疾患を急性腹症といい、先ほど挙げた急性虫垂炎や急性胆嚢炎、腸閉塞症、消化管穿孔も含まれます。急性腹症には消化器疾患以外にも婦人科疾患や泌尿器疾患、腹部の血管系疾患もあるため、治療のためにはまず原因を突き止める必要があります。現在、画像診断が進歩しており、問診結果をもとに行うCTや超音波検査などからほとんどの場合、原因がわかります。当院では急性疾患に対して夜間の救急外来を含め24時間体制で対応していますので、お腹に普段感じないような痛みや治らない痛みがある場合は早めに受診してください。

外科副部長
外来化学療法センター長

おじま えいすけ
尾島 英介

医学博士
日本外科学会専門医
日本消化器外科学会指導医・専門医

趣味

スポーツ、スポーツ観戦

健康法

筋力トレーニング

座右の銘

ONE TEAM

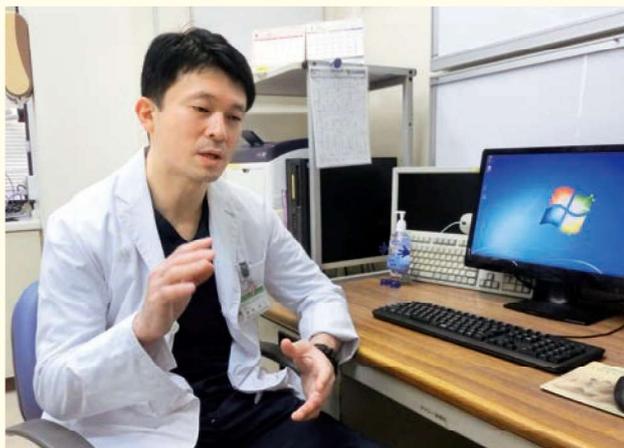
診察日

火～金曜の午前、隔週土曜の午前

日本人に増加する大腸がん、 早期の手術で90%以上が完治

日本人の死亡原因のトップはがんです。当科では胃や大腸など消化管のがん、膵臓や胆管など肝胆膵臓器のがんを中心に、患者さんの全身状態に合わせたオーダーメイドのがん診療を行っています。数あるがんの中でも大腸がんは食生活の欧米化などが原因となり、日本で非常に増加しています。大腸がんは早期発見による治癒率が高く、ステージⅠという早い段階で手術をすれば90%以上が術後に再発しない、すなわち手術で治ることが全国的な統計で示されています。また、肝臓や肺などに転移がある進行した大腸がんでも手術と化学療法や放射線治療を組み合わせる集学的治療により生命予後が良くなることも特徴で、あきらめずに治療を行うことが大切です。当科でも化学療法によって大腸がんの病巣、転移病巣がともに小さくなり、手術で病巣を切除し、がんを克服された患者さんがいらっしゃいます。大腸がんの早期発見には健康診断での便潜血検査や内視鏡検査が有効で、大腸がんがしやすい直腸からS状結腸を観察するS状結腸内視鏡検査もあるので活用してください。

大腸がんの手術治療は、がんが存在する部分の腸管切除、がんが広がっている可能性がある範囲のリンパ節の切除(郭清/かくせい)、残った正常な腸管同士をつなぐ吻合/ふんごうという3つの操作から成ります。近年、二酸化炭素でお腹を膨らませ、腹腔鏡と呼ばれる内視鏡でお腹の内部を観察しながら手術をする腹腔鏡下手術が主流になってきました。この方法は開腹手術に比べて傷が小さく術後の痛みも少ない、腸管の動き出しが早いことから身体の回復が早く入院期間が短いというメリットがあります。当科でも消化器疾患全般に対して腹腔鏡下手術を積極的に行っています。大腸がんでは進行がんを含め近年では90%以上の患者さんに対して腹腔鏡下手術を行い、身体の侵襲が少なく、かつ過不足がない手術治療を心がけています。術後に化学療法が必要な場



合、外科の主治医が引き続き担当し、外来化学療法センターで治療を継続します。腹腔鏡下手術で身体の回復が早ければ、化学療法への移行もスムーズです。



スタッフがONE TEAMで 取り組む質の高い医療

私は千葉県出身で、大学入学とともに金沢へやって来ました。2012年に当院へ赴任し、消化器外科医として手術治療を中心とした診療を行っています。外科医を選んだ理由は、病気を手術で取り除いて治すということに魅力を感じたからです。しかし、実際になってみると外科医の役割の大きさは想像以上でした。手術を行うだけでなく、病気の状態を正しく診断して治療法を検討する。手術が必要であれば術式を決定し、術後には病棟で患者さんの状態を注意深く観察しながら全身管理を行う。退院後も外来通院で身体の様子や病気の経過をフォローする。術前から術後まですべてに責任を持ち、患者さんと深く関われることにやりがいを感じています。学生時代からスポーツが好きで、高校、大学とラグビーに熱中しました。2019年に日本でラグビーワールドカップが開催されたことからONE TEAMという言葉が流行しましたが、質の高い医療を提供するという共通の目標に向かって診療にあたる医療チームもまさにONE TEAMです。当院ではプロ意識と熱意を持ち、患者さんに優しく接する医療スタッフが連携し、チーム医療を行っています。医師としても、さまざまな職種の医療スタッフに助けられていることに感謝しています。外科医として患者さんが病気を克服された時はこの上なく喜びを感じます。これからも手術、診療の腕を磨くとともに、大切な身体にメスを入れていただく責任の重さを肝に銘じ、どんな状況でも患者さんに寄り添える外科医でありたいと思います。

Pick UP!

外来紹介 ヘルニア外来

当院ではヘルニア外来を開設しておりそけい鼠径ヘルニアに対する治療を積極的に行っています。

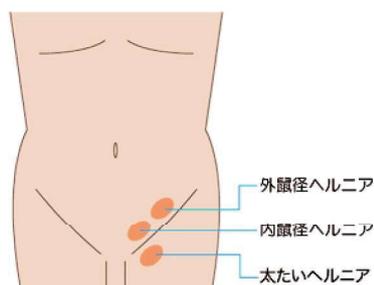


図1 鼠径ヘルニアの分類

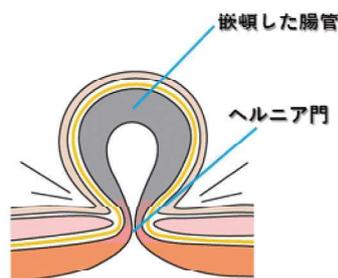


図2 鼠径ヘルニア嵌頓

鼠径ヘルニアとは

『鼠径部』は足の付け根を指し『ヘルニア』は体の組織が正しい位置からはみ出した状態をいいます。『鼠径ヘルニア』はお腹の中にあるべき腸や腹膜の一部が鼠径部の腹壁の隙間(ヘルニア門)から皮膚の下に出てくる病気です。ヘルニア門の場所により図1の様に分類されます。

鼠径ヘルニアの症状

立位やお腹に力を入れた時などに鼠径部の皮膚の下にお腹の中の組織が脱出し、柔らかい腫れを触れますが普通は押さえると引っ込みます。鼠径部の違和感や不快感を伴うこともあります。腫れが硬くなり押さえても引っ込まず、腹痛や腹満、嘔吐を伴うことがあります。これをヘルニア嵌頓(かんとん)といい(図2)、腸閉塞やあまり込んだ腸管の壊死を伴う可能性があり、急いで手術をしなければ命に関わることもあります。このような状態になる前に受診して頂くことが望まれます。

鼠径ヘルニアの治療法

手術によって根治が可能です。

当院で行っている手術方法

ポリプロピレン製のメッシュという人工補強材を腹膜前腔という筋膜下、腹膜直上のスペースに留置して鼠径部腹壁の補強を行います。ヘルニア分類の3か所の内、原因部位を含めた全てをカバーし将来的な再発の可能性を低く抑えることが出来ます。

●腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術

全身麻酔が可能な場合は腹腔鏡手術を選択し、腹腔鏡と手術器具を挿入するための小さな孔(通常は臍部1cm、左右側腹部に5mmずつの計3つの孔)で手術を行い、腹腔内から腹膜前腔へメッシュを留置します。傷が小さいため、手術後の痛みが少なく早期離床が可能です。また腹腔内からの観察によりヘルニアの状態が確実に診断でき、術前にはっきりしなかった反対側のヘルニアも診断できます。両側の鼠径ヘルニアも同じ傷で同時に手術をすることが可能です。

●前方アプローチによる鼠径ヘルニア根治術

全身麻酔のリスクがある方や、腹部手術既往などにより腹腔鏡手術が困難な場合に適応となります。4~5cm長の皮膚切開下に腹部前面から腹膜前腔へ到達してメッシュを留置します。

鼠径ヘルニアは一般的な病気ですが初期は症状も軽く病院を受診しない患者さんが多数いらっしゃいます。しかし病状が進行すると日常生活に支障をもたらすだけでなく嵌頓して命に関わる状態になることもあります。鼠径ヘルニアの症状を参考にして頂き、この病気が疑われる場合は当院ヘルニア外来を受診して頂くことをお勧めします。

受付時間

外科 ヘルニア外来 (月~金) 8:30 ~ 11:00

連携登録医のご紹介

今回は、金沢市太陽が丘の

『芝クリニック太陽丘』をご紹介します。

金沢市太陽が丘で開業させて頂き、地域の皆様、先生方、家族の支えのもと11年が経ちました。開業当初から浅ノ川総合病院の先生方には急性疾患などの患者さんを時間外でも快く受け入れて頂き心より御礼申し上げます。

訪問診療患者さんの急変時などは連携病院としてご協力頂きご家族の安心感にもつながっております。特に在宅排尿管理などでお困りの患者さんがおられましたら是非ご相談頂けましたら幸いです。

外来では生活習慣病と泌尿器疾患を併せ持った方の診療機会も多く、高齢化社会の進行加速を日々感じております。

今後も連携頂き、より一層精進させて頂く所存ですのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。コロナ禍が深刻な状況ではありますが、感染対策を徹底し、一刻も早い収束を願っております。



クリニック外観



院長 芝 延行 先生

たいようがおか

芝クリニック太陽丘

診療科：内科・泌尿器科
専門医資格：日本泌尿器科学会認定専門医
略歴：大阪府出身
金沢医科大学大学院医学研究科
博士課程修了
金沢医科大学泌尿器科講師
長谷川病院（富山市）
浅ノ川総合病院
福井社会保険病院

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	/	○	/	○	○	/
14:00~18:00	○	○	○	/	○	/	/
13:30~16:30	/	/	/	/	/	○	/

休診日：日曜日、祝日、木曜、火曜日午前

住所：〒920-1154
金沢市太陽が丘3丁目1-15
電話：076-260-1222
駐車場：あり(7台)
アクセス：北鉄バス「太陽が丘ニュータウン」下車
徒歩2分



連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

看護師紹介

あさのがわ訪問リハビリ・訪問看護ステーション所属の**特定行為研修修了看護師**に聞きました!

Q1：特定行為研修修了看護師について



特定行為研修修了看護師は認定看護師・専門看護師と異なり「資格」ではありませんが「特定行為の研修を修了した看護師」を表しています。今後の医療を支える看護師として実践的な理解力や判断能力のほか、高度な専門知識や技術をもって、患者さんの状態悪化を早期介入・早期対応・在宅医療での活躍ができることを目的に作られた制度です。特定行為には21区分、38行為があり看護師が特定行為を行うには、医師にあらかじめ手順書を書いておいてもらう必要があります。私は特定行為21区分の中から「**創傷管理関連**」と「**栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連**」の2区分を選択し研修を修了したので、**今まで医師しかできなかった「血流のない壊死組織切除」や「輸液の調整や補正」ができるようになります。**

Q2：どのような活動をしていますか？

在宅では寝たきりや家族の事情ですぐに治療できないことも多く、気が付いた時には状態が悪くなっていることや治癒するのに時間を要することが多いです。実際に手順書に沿った行為はまだ行っていませんが、「創傷管理関連」では褥瘡などの皮膚のトラブルの原因や要因について考え、早く治すためにどうすればいいのか、再発させない為にどうしたらいいのかを療養者や家族と一緒に考えています。「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」についても同様で、発熱や食事が摂れなくなった原因や要因を考え、脱水や低栄養を悪化させない方法や改善するために飲みやすいものや食べやすいものを療養者と家族と一緒に考え提案しています。



訪問看護の場で活躍

特定行為研修を修了したからといって、現場ですぐに能力を発揮できるわけではありません。今は訪問先で療養者の皮膚の状態や栄養状態を評価し原因や誘因、改善や治療方法を検討しています。そのため業務の合間に褥瘡回診や皮膚排泄ケア認定看護師の回診に参加させてもらい研修終了後も継続的に指導を受けながら、研修で学んだことの再確認とスキルアップに心掛けています。

特定行為研修の必要性を理解し協力してくださる医師や看護師、そうした環境を整えてくださる職場・看護部のサポートに感謝しています。

特定行為研修の必要性を理解し協力してくださる医師や看護師、そうした環境を整えてくださる職場・看護部のサポートに感謝しています。

Q3：やりがいや苦労話などあれば教えてください。

日頃の業務で、今まで曖昧な評価や判断力が、この研修を受けることで根拠をもとに実践できるものになってきています。

在宅で療養している方で褥瘡の処置や点滴などの治療ができることで緊急の受診をしなくてもよくなったと家族や療養者からとても喜ばれます。今後はこの行為でもっと多くの人々が安心して在宅で過ごせるように頑張りたいと考えています。研修で習得した知識をスタッフや医療従事者に伝えることで看護の質の向上へと繋がると思いますが、療養者や家族から信頼される看護師・訪問看護ステーションとして活動していきたいと考えています。



勢登 裕子

医療福祉相談室のご案内

医療福祉相談室とはなに？

病気になると、これまで想像していなかった問題や心配なことが起こることがあります。医療福祉相談室では、病気や怪我の療養に伴う社会的、経済的、心理的問題など、生活問題全般について相談に応じています。患者さんやそのご家族からのご相談を、医療ソーシャルワーカー8人で対応しています。当院を利用される全ての方が、安心して医療、介護等のサービスを受けられ、生活を営めるようお手伝いさせていただきます。



例えばこのような時にお気軽にご利用ください

- ▶ 退院後の生活に不安がある
- ▶ 介護サービスや介護施設を利用したいが、どうしたらよいかわからない
- ▶ 診療費の支払いが心配 (がんの治療費、高額療養費制度、自立支援医療など)
- ▶ 障害年金や障害者手帳について知りたい ※原則、プライバシーは保護しますが、院内外のスタッフとの情報共有が必要な場合は、相談者の承諾を頂いたうえで対応いたします。



地域の関係機関との連携を密にしています

当院を利用する方々が、住み慣れた地域で長く生活するには、医療・介護・福祉の連携が欠かせません。医療福祉相談室では、地域の医療と介護の橋渡し役になるべく、多くの関係機関と連携しています。中でも、関連機関の浅ノ川病院グループ・千木福祉会、(株)はなみずきには60人程の相談員が働いており、①相談員全体の育成、②患者さんへの生活支援の実践力向上、この2つを目的として、会議や勉強会を通して連携強化をしています。

患者さんや関係機関からより相談しやすい窓口を作ります

コロナ禍において当院を利用する方々が、様々なお困りごとを相談できる機会が少なくなっていると感じています。当院に直接お越しいただけない場合は、お電話でも結構ですのご相談ください。病院内外の関係者とともに、患者さんのご家族を支えるネットワークを作って、問題解決のお手伝いをいたします。

【相談方法】 ▶ 入院中の方は病棟スタッフ、通院中の方は外来スタッフへお声掛けください

▶ 下記へ電話でご相談ください

医療福祉相談室室長 松多岳史

お問い合わせ先

【東館1階 医療福祉相談室】

相談受付時間：【月～金】8:30～17:00 【土】8:30～12:30(第2土休み)

担当者：松多、松井、西川、松本、森川、池村、山本、砂山

連絡先：(代)076-252-2101

※令和3年2月現在

お知らせ

新世代1.5テスラMRI装置を導入しました。

《当院のMRI装置について》

MRI検査とは、磁場を利用して体内の様子を画像化するもので、解剖学的、質的診断にきわめて有効な検査です。

世界最新鋭のドイツ、シーメンス社製MRIは高速撮影により短時間で検査ができ、高精細な画像診断を行う事が可能となりました。



磁気共鳴断層撮影 (MRI) 装置
ドイツ シーメンス社MAGNETOM Sola

お問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL:076-252-2101(代) URL:<http://www.asanogawa-gh.or.jp/>
メールアドレス:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp

